

「休暇、勤務時間、労安に関する調査」報告 多忙化解消のため 教職員定数の改善を!

8月末から9月にかけて実施した「休暇・勤務時間・労安等調査」のおもな結果について報告します。この調査は2012年度以来、5年ぶりに実施しました。長時間勤務や、7時間授業が多くの学校で行われている実態が明らかになっています。教職員定数の改善や私たちの意識改革が求められます。

【分会調査】

お盆の期間（8月14日～16日）の対応はどうなっていますか。

			2012年
①閉校とし全職員休暇とした	4	5.0%	7.4%
②閉校とせず管理職で対応した	56	70.0%	51.5%
③閉校とせず教職員の当番で対応した（部活・課外はなし）	8	10.0%	17.6%
④夏季休業中の他と同じ対応で部活・課外があった	5	6.3%	10.3%
⑤その他	7	8.8%	10.3%
	80		

お盆期間中は管理職対応の学校がほとんどです。「閉校とし全職員休暇」が4校ありました。一方で講師に対応させている学校の報告があり問題です。

部活動において週1日以上のお休み日は設定されていますか。

			2012年
①学校で統一して週1日以上のお休み日を設定している	5	6.3%	7.9%
②各部毎に週1日以上のお休み日を設定している	51	63.8%	22.2%
③特に設定していない	16	20.2%	69.8%
NA	8	10.0%	
	80		

今年2月、県教委から、部活動お休み日について「週1日以上」とする通知が出されました。これについて「特に設定していない」が16校ありました。5年前は「特に設定していない」が多く占めていました。（5年前の質問では「週1日の部活動お休み日の設定」となっており「以上」はついていません）

学校の授業時間数について該当するものを記入してください。

			2012年は 質問項目 なし
①毎日6時間授業	36	43.4%	
②毎日7時間授業	14	16.9%	
③週に何日か7時間授業が行われている	20	24.1%	
④土曜日授業が行なわれている	3	3.6%	
⑤その他	10	12.0%	
	83		

7時間授業を行っている学校が増加しています。「毎日7時間授業」と「週に何日か7時間授業が行われている」をあわせると約4割、これを普通科高校だけでみると約7割にのびります。6時間授業ですが1コマ60分の学校もあります。